

理数探究の評価(教師用)

【評価の観点および基準(①～⑤は論文の評価・⑥～⑧は活動の評価)】

- ① 文献を十分に読み、先行研究調査をしっかりと行っている。
- ② 比較・実験の分析結果の妥当性
- ③ 研究の目的・背景→仮説→研究手法→結果・考察→今後の展望の流れが一貫している。
- ④ 本文中の引用の仕方、最後の参考文献一覧がきちんとできている。

	① 文献 先行研究調査	② 比較・実験 分析の妥当性	③ 論の流れ 一貫性	④ 引用 参考文献
	知識・技能	思考・判断・表現	思考・判断・表現	知識・技能
よくできた A	研究の目的や背景を論述するに足る論文を読み、先行研究調査として詳細に深く記述できている	適切な手法や条件で、比較・実験を行い、そこから導き出された結果や考察は妥当である	・目的、仮説、研究手法、結果・考察、今後の展望について、論の流れに矛盾がない ・結果・考察に根拠となる適切なデータが示されている	文章中の必要な個所、図版等に正しく引用が表記されている 論文の末尾に正しい表記で参考文献が書かれている
ややよくできた A	先行研究調査として量は書かれているが、内容に深みがない	適切な手法や条件で、比較・実験を行い、なにかしらの結果を導いた	・目的、仮説、研究手法、結果・考察、今後の展望のうち、抜けている又は内容がとても薄い部分がある ・結果・考察に根拠となるデータが示されている	論文末尾に参考文献の記載はあるが、論文中に引用としていくつかの記載漏れや表記ミスがある
あまりできていない B	先行研究調査の量が少なく、表面的な記述しかない	比較・実験をとおして分析を行った	・目的、仮説、研究手法、結果・考察、今後の展望について、論の流れに矛盾がある ・結果・考察に根拠となるデータが示されていない	論文末尾に参考文献の記載はあるが、論文中に引用がない
未提出・していない C	研究の目的や背景を説明する根拠となる先行研究調査がなされていない	比較・実験をしていない	目的、仮説、研究手法、結果・考察、今後の展望のうち、抜けている部分が多く、形式に沿った論文になっていない	論文中に文献の引用がなく、論文末尾にも参考文献の記載がない

⑤実験・フィールドワーク(インタビュー・アンケート・現地調査)を行っている。

⑥研究成果の発表(外部発表・校内代表者発表・クラス内発表)

⑦班の中での役割、班への貢献

⑧個人での取り組み

	⑤フィールドワーク・ 実験・外部連携	⑥発表の取組	⑦班内での役割	⑧個人の取組
	学びに向かう態度	学びに向かう態度	学びに向かう態度	学びに向かう態度
よくできた A	1つでも行った	外部発表をした	リーダー的役割で、計画やアイデアを出し、調査や論文作成等、班の中心となって行った	【以下の項目4つ以上】 ・企業講話を受け、振返りアンケートに回答した ・夏休みの課題を期日に提出することができた ・夏休みの課題の内容が概ね書けていた ・論文を仮提出の期日(11月)に提出できた ・論文を期日(1月)に提出することができた
ややよくできた A	—	校内代表で発表をした	論文作成や資料集め、アイデア出しなど意欲的・積極的に取り組み、班のサポート的な役割を果たした	【上の項目のうち3つ】
あまりできていない B	—	クラス内で発表をした	自ら意見を出すなど行動することはなかったが、頼まれたことについては役割を果たし、サポートした	【上の項目のうち1~2】
していない C	何もしていない	何も発表をしていない	ほとんど協力することはなかった	【上の項目に該当しない】